年間授業計画

足立東高等学校 令和７年度（３学年用）　教科　総合　科目　スタディガイダンスⅢ

教　科：　教科　総合　　科　目：　スタディガイダンスⅢ　　単位数：　１　単位
対象学年組：第　３学年　１組～　６組
教科担当者：（１組：中西）　（２組：野﨑）　（３組：松下）　（４組：池上）　（５組：坂本）　（６組：山口）
使用教科書：（ ベネッセコーポレーション「マナトレ」基礎編コースの数学、標準編コースの国語、英語の３教科 ）
教科の目標：

【知識及び技能】　義務教育段階の学習内容を高等学校段階での学習に必要な項目に絞り、効率的に学習できる教材「マナトレ」を活用して国語・数学・英語の学習指導を行う。これにより学校設定科目「キャリアガイダンス」の3カ年を見通した系統的進路指導を学習面から補強し、進路決定率の向上を図る。

【思考力、判断力、表現力等】　生徒の「わかった」、「できた」という成功体験を積み上げ、「次もやってみたい」、「もっと学びたい」という学習意欲を喚起し、自己肯定感を育む。

【学びに向かう力、人間性等】　確かな基礎学力を身に付けることで、進路選択の幅を広げ、将来の展望を見いだす力を育成する。

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
義務教育段階の学習内容を高等学校段階での学習に必要な項目に絞り、効率的に学習できる教材「マナトレ」を活用して国語・数学・英語の学習指導を行う。これにより学校設定科目「キャリアガイダンス」の3カ年を見通した系統的進路指導を学習面から補強し、進路決定率の向上を図る。	生徒の「わかった」、「できた」という成功体験を積み上げ、「次もやってみたい」、「もっと学びたい」という学習意欲を喚起し、自己肯定感を育む。	確かな基礎学力を身に付けることで、進路選択の幅を広げ、将来の展望を見いだす力を育成する。

	指導項目	指導内容	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	（１）国語（12回×10分） 「マナトレ」国語　標準編 【６級】語い （２）数学（20回×10分） 「マナトレ」数学　基礎編 【10級】四則計算（加法・減法） 【９級】四則計算（乗法・除法） （３）　英語（22回×10分） 「マナトレ」英語　標準編 【６級】一般動詞（過去）否定文・疑問文 【５級】be動詞（現在・過去）	ベネッセコーポレーション「マナトレ」基礎編コース　国語、数学、英語の実施 各教科の各級は、ＳＴＥＰ１からＳＴＥＰ９までの９回と、まとめテスト１回の計10回で構成されている。 これを１日１回実施し、国語10回、数学10回、英語10回、国語10回、…、のように繰り返し実施する。 一人一台端末を使用してClassiにログインし、配信された課題に10分で取り組む。問題に回答後、生徒は解説を読んで振り返りを行う。学級担任は机間巡視を行って生徒の取り組み状況を把握するとともに、Classi上で各生徒の学習の進行状況を点検把握する。 学級担任は学習の定着状況が十分でない生徒について当該教科の担当者に報告する。 苦手分野については、各教科と連携して計画的に学習指導を行う。 基礎力診断テスト実施前に教科ごとに事前課題に取り組む時間を確保する。	【知識・技能】 マナトレの内容を理解し、学習内容が定着したか。 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、その解決に取り組むとともに、他者と協力することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に出席し、教材準備を行い、マナトレに取り組み、自己の学習調整をしながら、粘り強く取り組んだか。				13 (65)
２学期	（１）国語（22回×10分） 「マナトレ」国語　標準編 【５級】　語い 【４級】　語い （２）数学（22回×10分） 「マナトレ」数学　基礎編 【８級】小数の四則計算 【７級】分数 （３）　英語（18回×10分） 「マナトレ」英語　標準編 【４級】疑問詞 【３級】助動詞			○	○	○	14 (70)
３学期	（１）国語（1回×10分） 「マナトレ」国語　標準編 【３級】語い （２）数学（1回×10分） 「マナトレ」数学　基礎編 【６級】比例と割合 （３）　英語（7回×10分） 「マナトレ」英語　標準編 【３級】助動詞						8 (40)
							合計 35 (175)